



魚津市役所

新庁舎整備だより

『第9号』

令和6年（2024年）12月 魚津市



第10回魚津市新庁舎整備検討委員会を開催しました！



R6.11.25 検討委員会の様子

第10回検討委員会では、新庁舎整備における『概算事業費・財源』『事業手法』の2つの議題について協議を行い、想定される事業手法（設計・施工分離発注方式）での『全体事業スケジュール』について確認を行いました。（詳細は市HPで公開している会議資料や議事録をご確認ください。）



新庁舎整備の概算事業費・財源

新庁舎の規模については、前回の検討委員会における意見を踏まえ、①多目的スペースの一部をエントランスホール等と共用することにより必要面積を確保すること、②災害用資機材や備蓄品は敷地内に設置する防災倉庫で保管することにより、200㎡縮減し約6,500㎡としました。

概算事業費については、建設資材価格や労務費が高騰していることから、工事等発注時点における価格を想定して試算したところ74.1億円となりました。

財源については、市の財政負担を軽減・平準化するため、現在の財政制度を最大限に活用することができれば、市債が55.9億円、基金繰入金が18.2億円となる見込みです。

項目		金額(億円)	備考	財源(億円)
新築工事	本体工事	49.9		市債 <u>55.9</u> (緊急防災・減災事業債) (脱炭素化推進事業債) (こども・子育て支援事業債) (公共施設等適正管理推進事業債) (一般単独事業債)
	ZEB化費用	6.0	断熱・遮熱性のガラス、高効率エアコン等	
	付帯施設工事	1.6	車庫（公用車）、倉庫（物品、防災備蓄等）	
設計・調査		4.1	基本・実施設計、測量・地質調査	
什器・備品等購入		3.6	机、椅子、キャビネット等	
現庁舎敷地購入		1.0		基金繰入金 <u>18.2</u> (公共施設整備基金)
小計		66.2		
その他工事		7.9	構内舗装・緑化、伐採、本庁舎解体	
合計		74.1		

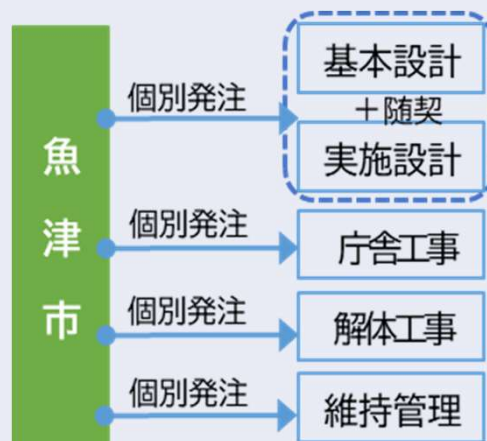
新庁舎の整備には多額の費用が必要となることから、市の中期財政計画に基づき、公共施設整備基金の残高が令和8年度末までに20億円となるよう計画的に積み立てています。また、令和9年度以降は新庁舎の整備に係る市債償還額の増加に備えて基金への積立てを行っていきます。

新庁舎整備の事業手法

『魚津市新庁舎整備基本構想』において整理した4つの事業手法である「設計・施工分離発注方式」、「基本設計先行型DB方式」、「DB方式」、「PFI方式」について比較検討を行いました。

その結果、他の方式と比べて早期に整備できることや市の意向を反映しやすいこと、市場調査において『参加可能』との回答が最も多かった「設計・施工分離発注方式」を採用することとしました。

設計・施工分離発注方式



全体事業スケジュール

選定された「設計・施工分離発注方式」における新庁舎整備事業の全体スケジュールについて、現時点での案を以下のとおり確認いたしました。（※スケジュールは現時点の想定であり、設計段階以降で変更となる可能性があります。）



検討委員からの主な意見

- ・ 県内他自治体の新庁舎整備と時期が重なること
で工期に支障がないように気を付けて欲しい。
- ・ 将来財源的に厳しくならないよう、国・県へ補助
制度の要望を積極的に行っていくべき。
- ・ 特別な工法や普及していない資機材は使用しな
い方が良い。



【ご意見・お問い合わせはこちらまで】

〒937-8555

魚津市釈迦堂一丁目10番1号

魚津市役所 総務部 財政課 新庁舎整備室

T E L : 0765-23-1088 (直通)

E-mail : uozu-shinchosha@city.uzo.lg.jp



市HP
新庁舎整備